

2023年度 第1回教職員交流会

「働きやすい附属学校園を求めて～働き方改革に向けた提言～」
を開催しました。

2023年12月15日（金）午後4時～5時

東6号館1階 大教室

話題提供：山田 有希子 先生（附属小金井幼稚園 副園長）

中村 香 先生（附属小金井小学校 教諭）

村上 潤 先生（附属小金井中学校 副校長）



左から

山田有希子先生 中村香先生 村上潤先生

年の瀬が迫る12月15日の夕暮れ、教職員交流会が開催されました。今回は山田有希子先生、中村香先生、村上潤先生の三氏に、附属学校園の労働環境について現場の声をお聞かせいただきました。

幼稚園の副園長として管理職と教育の双方の現場にあたる山田先生は、附属幼稚園のミッションである①質の高い幼児教育②教員養成③教育研究・研修④地域・社会貢献を挙げ、其々の項目に沿って実際の活動の内容や、それらが提起する問題点を指摘されました。労働環境の点でまず強調されたのは、圧倒的な人員不足です。附属幼稚園の教職員は比較的若く、産休や育児中などの個々の事情を抱えた働き手を含めて現在は総勢6名で担任業務にあっているそうです。その中で、実習やインターンシップを通じて積極的に関わってくれる学生の存在が現場での大きな力になっているとのこと。研修をオンデマンドにする等、できるところから負担を軽くするための更なる工夫が求められているようです。

中村先生は2011年の着任当時と2023年現在のデータを比較しつつ、附属小学校の現場がどのように変化しているかを具体的にご紹介いただきました。12年に亘る在職期間中、職場の雰囲気や意識は、例えば男性の育休取得者が見られるようになった等、大きく変化したとのこと。在宅勤務が導入されるなど現場の負担を軽減するための措置も導入されていますが、一方で教員の高齢化が進む現状でまだまだ課題は多いようです。交流人事の期間を短縮する、一学級あたりの人数を減らす、有能な教員を確保する等、さらなる改革が求められているのではないか、という提案がなされました。

昭和62年に着任された村上先生は今回の登壇者の中では学芸大学の在職期間が最も長く、附属小金井中学校の歩みに精通されていることから、校舎等のハード面、雰囲気等のソフト面の双方からその変化について俯瞰的に語っていただきました。37年の在任中に女性教員は4名から9名となり、教職員旅行は廃止され、常態化していた長時間の職員会議は原則として「17時終了」となるなど、附属中学校の職場文化は大きく改善された一方で、新た々に設置されたICT担当教員の負担は増加傾向にあるとか。各種の制度も整備されてきたとはいえ、それらは個々の働き手が十分にその恩恵に浴びることができて初めて意味あるものとなります。村上先生もまた、「教職員一人一人が様々な制度を遠慮することなく利用しながら、個人（家庭）と仕事（職場）を両立し、生き甲斐をもって生活できる職場環境を整える」ことを、目標として掲げられました。

附属学校園からの情報提供後、「一クラスの人数の減少」「実習期間の分散」「大学生の「自己創造のための教育活動」の活用」等の可能性について、参加者との意見交換がなされました。

東京学芸大学の研究教育活動は、附属学校園によって支えられている部分が少なくありません。大学として今後とも附属学校園の声に耳を傾け、あらゆる面で緊密に連携する必要が再認識される交流会でした。

(文責：男女共同参画推進本部 尾関 幸)

当日の様子 23名の教職員にご参加いただきました。

「くるみん認定」を受けました！



其の適合二 授業者士認定通知書
 国立法人 東京学芸大学
 東京学芸大学長 園分 亮 殿
 貴法人の令和 四年四月一日から令和
 五年三月三十一日までの 授業者士行
 動計画については、次世代育成支援法
 案推進法第十二条に基づく規定に適合
 するものであると認ずましたので、
 通知します。
 令和五年二月二十一日
 東京学芸大学長 園分 亮

令和3年4月から令和5年3月までを期間とした一般事業主行動計画に基づき実施した施策と取組みの成果を根拠として申請を行い、東京学芸大学として初めて「くるみん認定」を受けることができました。

くるみん認定マークは、次に掲げるものに使用することができます。

- ① 商品又は役務
- ② 商品、役務又は一般事業主の広告
- ③ 商品又は役務の取引に用いる書類又は通信
- ④ 一般事業主の営業所、事務所その他の事業場
- ⑤ インターネットを利用した方法により公衆の閲覧に供する情報
- ⑥ 労働者募集の用に供する広告又は文書

※くるみん認定とは

「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けた証です。次世代育成支援対策推進法に基づき一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業は、申請を行うことによって「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けることができます。

（厚生労働省Webサイトより抜粋）



左から 園分学長 坂本本部長

2024年度 「育児・介護・看護等支援補助員制度」 利用者募集のお知らせ

本学教職員の、出産・育児、又は介護、看護と職務の両立を支援するために、「育児・介護・看護等支援補助員制度」を実施しています。支援補助員の業務は、利用者本務の補助とします。4月以降の申込みを受付けます。

- ①利用期間 2024年4月1日～2025年3月31日
- ②申請期間 1月22日（月）～2月29日（火）
※年1回の申込みです。
- ③選考方法 男女共同参画推進本部長が、申請書類に基づき支援の必要性の度合等を考慮した上で選考します。
- ④結果の通知 2023年3月中旬
男女共同参画推進本部運営会議で確認後すぐに申請者に通知します。

開催します

第27回 男女共同参画フォーラム
 「性の多様性に関するガイドライン」をめぐって
 2024年1月31日（水）15：30～17：00
 中央2号館 S410教室

たくさんのご参加
お待ちしております！

- ☆参加費無料
- ☆事前申込不要

開催予定

2023年度 第2回 教職員交流会
 2月下旬開催予定

話題提供：細田 明さん
 （学務部学務課長）

管理職のお立場から、育休や育児中の職員に対する業務等の調整や周囲への配慮等の経験談をお話いただきます。

詳細は後日チラシをご確認ください。

詳細は男女共同参画推進本部HPをご覧ください。



学芸大 男女

で検索



東京学芸大学 男女共同参画推進本部

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

TEL: 042-329-7126（事務局：本部棟4階人事課職員係）

E-mail: shien1@u-gakugei.ac.jp URL: <http://www.u-gakugei.ac.jp/~danjo/>